

第1学年 道徳科学習指導案

令和3年1月23日(土) 4校時

第1学年 1組安部隆子 2組石井大介 3組倉富千尋 4組藤田由里子

- 1 主題名【 がんばって つづける 希望と勇気、努力と強い意志 】
- 2 教材名 「やれば できるんだ」
- 3 ねらい 何かを最後までやり通すにはどんな気持ち大切かを考えさせ、諦めずに努力し続けようとする実践意欲と態度を育てる。

4 展開

	学習活動と主な発問 ◎中心発問 ○主な発問 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点
導入	1 学習課題を設定する。 ○自分が「がんばったな。」と思うのは、どんなことですか。 ・漢字の学習。 ・体育発表会の練習。	・「がんばっている自分があるな」と振り返らせることで、めあてにつなげるとともに、教材の主人公に自分自身を重ねて考えていけるようにする。
展開	<p>なにかを さいごまで するためには、どんな気持ちがあるといいか かんがえよう。</p> 2 「やればできるんだ」を読んで考える。 ○「わたし」は、どうして「やってよかったなあ。」と思ったのでしょうか。 ・今までできなかったことができるようになって嬉しいから。 ・やると決めたことを、頑張ってやり切れたから。 ◎「わたし」は、どうしてがんばった印が増えそうだと思ったのでしょうか。 ・1段ぬかしをしようと思ったから。 ・がんばりたいことがまたできたから。 ・これからも練習をするから。 ○あなたは、「できるまでがんばるぞ。」と思って何かをがんばったことはありますか。また、その時どんな気持ちになりましたか。 ・自分の名前を上手に書けるようになって、ほめられて嬉しかった。 ・持久走で、最後まであきらめずに走って、すっきりした気持ちになった。	・物語の挿絵を提示し、内容を理解させる。 ・苦しいことやつらいことがあってもくじけずにやり遂げた「わたし」の喜びや充実感に共感させて考えさせる。 ・「わたし」の気持ちを共感的に考えさせることを通して、自分に合った目標を設定し、さらに向上しようと前向きに取り組むことのよさを押さえさせる。 ・全体発表を通し、友達の考えでいいなと思ったところは付け足しをする。 ・努力した自分に気づかせ、そのときの気持ちを思い起させることで、自分自身を高めていこうとする意欲を喚起させる。 ・自分を振り返ることが難しい児童に対しては、各教科や行事、習い事など振り返る視点を与えることで、想起させるようにする。
終末	3 本時の学習を振り返り、自己の生き方についての考えを深める。 ○何かを最後までするためには、どんな気持ちが必要だと思いますか。 ・毎日続けようという気持ち。 ・できるようになりたいという強い気持ち。 ・諦めない気持ち。	・本時の学習を通して考えたことを基に、考えさせる。 ・これから、決めたことを諦めずにやり通すために、どんな気持ちを大切にしていけばよいか考えさせ、全体発表で出た意見を学級で共有する。 ・世界で活躍するスポーツ選手が小学生の頃の話を紹介し、自己の生き方についての考えを深めさせる。

4 評価

- ・自分で決めたことを最後までやり通すことのできさや、困難を乗り越え、くじけずに努力することの大切さに気付くことができたか。

○「やればできるんだ」

○ねらい

今回の1年生の授業では、何かを最後までやり通すには、どんな気持ちが必要かを考えさせ、諦めずに努力し続けようとする実践意欲と態度を育てることをねらいとしました。

○手立て

「やればできるんだ」は、主人公の女の子が、うんていの練習を毎日一生懸命頑張り、少しずつできるようになったことで、さらに難しい技に挑戦しようと思うことができたというお話です。

展開では、児童に、苦しいことやつらいことがあってもくじけずにやり遂げた「わたし」の喜びや充実感に共感させ、これから、決めたことを諦めずにやり通すために、どんな気持ちを大切にしていこうか考えさせます。また、終末には、世界で活躍するスポーツ選手が、小学生の頃の話を紹介し、自己の生き方についての考えを深めさせるようにします。

○児童の様子

最初にお話を読み聞かせると、「私も今、うんていの練習をしているよ。」「鉄棒をしたら、まめが潰れて痛かったんだ。」などの反応があり、児童にとって、身近な題材であることが分かりました。

次に、「一段抜かしに挑戦したい。」と、新しく頑張りたいことができた主人公の気持ちを考えました。児童の発言には、「一生懸命練習する。」「一段抜かしも頑張るぞ。」といった、主人公の前向きな気持ちに共感するものが多かったです。

本時のめあてについては、「諦めない気持ち」「強い気持ち」などの反応が多く、自分で決めたことをやり通すために必要な気持ちを考えることができました。

○写真

